

教科	科目	学年	単位数
公民	公共	2年	2
使用教科書		副教材	
『詳述公共』(実教出版)		『最新図説 公共』(浜島書店) 『詳述公共演習ノート』(実教出版)	

## 1. 学習到達目標

- ① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ③ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## 2. 評価

- ① 年4回の定期テスト
- ② 小テストやノート・プリント等の提出物の内容
- ③ 学習活動の参加状況（授業中の態度・発言内容・作業への取り組みなど）

※細かな評価は下記参照のこと。

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

### 3. 学習内容

学期	月	単元・試験	授業内容（教科書）	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4	第1編「公共」の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 民主社会の倫理 第4章 民主国家における基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期・自己形成の課題</li> <li>・職業生活・社会参加</li> <li>・現代社会と青年の生き方</li> <li>・思想史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の特徴や発達課題としてのアイデンティティの確立の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について考察する。</li> <li>・現代社会で生きる上で何が課題なのか、現代社会の特質やキャリア開発の意義、社会参画を通じて育てるシティズンシップの意義などについて理解する。</li> <li>・先人の思想を手がかりに、思考実験を用いて、問題解決の方法について考察し議論する。</li> </ul>
	5	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の成立</li> <li>・日本国憲法の基本原則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法の支配や近代立憲主義の意義について、歴史的背景もふまえながら理解する。</li> <li>・公共的な空間における基本的原理の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解する。</li> </ul>
	6	第2章 日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治</li> <li>・国会</li> <li>・内閣</li> <li>・裁判所</li> <li>・地方自治</li> <li>・政治参加と選挙</li> <li>・政党と利益集団</li> <li>・メディアと世論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治の原則としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の形態と意義について理解するとともに、地方自治の課題について考察する。</li> <li>・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について、実際の政治事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・政治参加のさまざまな方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題について、実際の事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・世論形成に及ぼすメディアの役割、正しい情報に基づく合理的な判断の重要性について考察する。</li> </ul>
	7	《定期試験》		
2 学 期	9	第3章 現代の経済社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会の形成と変容</li> <li>・市場経済</li> <li>・現代の企業</li> <li>・国民所得と経済成長</li> <li>・金融</li> <li>・中央銀行の役割と金融環境の変化</li> <li>・財政の働きと課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、実際の経済事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・経済の指標の計算方法と意味、経済成長とその要因、景気変動と物価について、実際の経済事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融システム、金融市場と金利の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・財政の三つの機能、財政政策、財政のしくみや租税法主義などについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。</li> <li>・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、実生活とのかかわりも含めて理解する。</li> </ul>
	10	《中間試験》		
	11	第4章 経済活動のあり方と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の歩み</li> <li>・中小企業と農業</li> <li>・公害防止と環境保全</li> <li>・消費者問題</li> <li>・労働問題</li> <li>・社会保障</li> </ul>	
	12	《期末試験》		
3 学 期	1	第5章 国際政治の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会における政治と法</li> <li>・国家安全保障と国際連合</li> <li>・冷戦終結後の国際政治</li> <li>・軍備競争と軍備縮小</li> <li>・異なる人種・民族との共存</li> <li>・国際平和と日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会において国家間のさまざまな問題が生じる背景と外交や国際法の意義について多面的・多角的に考察する。</li> <li>・集団安全保障としての国際連盟、国際連合の成立とそのしくみ、国際連合における安全保障、国際連合のさまざまな役割と課題について、実際の国際的な事象と関連させながら理解する。</li> <li>・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策について、実際の事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</li> </ul>
	2	第6章 国際経済の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済のしくみ</li> <li>・国際経済体制の変化</li> <li>・グローバル化と金融危機</li> <li>・地域経済統合と新興国</li> <li>・ODAと経済協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進に向けた体制、国際収支統計の意味について、実際の経済的事象とも関連させながら理解する。</li> <li>・現在の国際経済秩序と動き、地域統合の歴史と現在、台頭する新興国の動きなどについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</li> </ul>
	3	《学年末試験》		

### 4. その他

- ① 学習内容の順番は、生徒の現状等に応じて変更することもある。
- ② 日本だけでなく、世界の時事問題についての学習も含む。